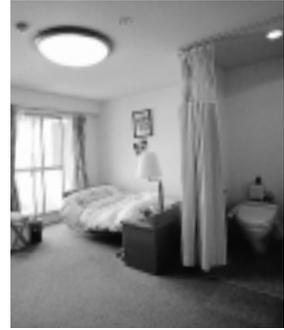


アクティブライフ神戸



個室は元の部屋の大きさのまま。建てられたのが昔だけに、今ではなかなかないような大きな部屋もいくつかあり、利用者にも喜ばれている



入口は利用者の利便性を考えて、スロープに改造されている。また、生活感を出すために花が飾られている



利用者が集まるLDKを作るため、部屋をいくつか潰して、オープンスペースを生み出している



植栽は昔のまま残されているが、散歩したりできるように整備された中庭。ここで夏場はバーベキューパーティが開かれたりする

ストック再生の現場から

利用者にも好評な 高齢者施設へのストック再生

アクティブライフ神戸 / アクティブライフ中町倶楽部

ナビゲーター
(株)アクティブライフ
ACTIVE LIFE
Co.,Ltd.

既存物件をリノベーションして使用

高齢者福祉の事業を展開している(株)アクティブライフでは、現在「アクティブライフ神戸」と「アクティブライフ中町倶楽部」などで既存の建物をリノベーションして利用し、高齢者用施設として運営している。

「アクティブライフ神戸」は、神戸市六甲区にある「JR神戸線 灘」駅から徒歩から六甲山に向かう坂の途中にある。周囲は学校や昔ながらの住宅が広がる閑静な地域で、そこに大規模な高齢者用施設があることなどは、知らないと分からないほど。そもそもの狙いが、地域

アクティブライフ神戸

〒651-0053
神戸市中央区籠池通2-2-10
電話:078-271-0500

アクティブライフ中町倶楽部

〒631-0052
奈良市中町5014
電話:0742-51-1165



納屋を改造して事務所として使用。母屋の雰囲気を崩さずに業務ができるようにしているのも、配慮のひとつ

『離れ』を改修した部屋。床暖房を入れるなどしているが、基本的には、もとの部屋の意匠そのままに使用していることで、利用者にも好評とか



居間を中心に3つの部屋を1つにした、デイサービスルーム。絵や写真なども部屋の雰囲気に合わせたものが飾られている



「中町倶楽部」外観。築60年を超える住宅の雰囲気を残しながら改修し、デイサービス用の施設としている

アクティブライフ中町倶楽部

に『自然に』溶け込む施設だったのだから、これも当然と言えるだろう。この施設の建物は、元は銀行の独身寮だったが、グループホームとして適正な規模であることから、バリアフリー化や水回りの改装などのリフォームを行うて高齢者施設としている。それに関して『アクティブライフ』では、「環境への影響や資源の有効活用はもちろん、新築に比べてコストが低減でき、開業までのスケジュールの短縮が図れ、さらに周辺住民にも全く新しい施設を造るよりも理解が得られやすい点などが理由になりました」と説明する。

一方、「アクティブライフ中町倶楽部」は、痴呆症の高齢者を対象とするデイサービスセンター。古くからの住宅が点在する奈良市中町にあつた古い平屋建ての民家を借り、水回りの改装やバリアフリー化といった高齢者用の改修を加えて使用している。『アクティブライフ』は、「家庭的なリアリティーのある雰囲気の中で昔懐かしい生活を送ることや、痴呆症の高齢者の方の心も落ち着くはずと考えました。家庭的な組み合わせは、効果と専門性のある介護の組み合わせは、効果を確かにあげています」と言う。確かに、この建物を見ると心が和むことから、その狙いは当たっているのだろう。

こうした既存ストックを利用する手法は、環境問題にも有意義だという点に加え、高齢者にとっては癒しの効果が生まれるというメリットもあることから、これからも適切な施設があれば続けていく予定だという。

(文責:CEL編集部)